

事業所名

BLUEBIRDS足立関原

支援プログラム

作成日

令和8年

5月

1日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害児および医療的ケア児が、地域の中で安心して過ごし、自分らしく成長できる環境を提供する。 ・子ども一人ひとりの尊厳と個性を大切に、安全で温かい居場所づくりを通じて、本人と家族を支える支援を行う。 ・また、「Safe・Secure・Fun」を大切に、子どもたちが安心して楽しく過ごせる場所を提供する。 		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害児および医療的ケア児を対象とし、看護職員・保育士・児童指導員・機能訓練担当職員等の専門職が連携しながら支援を行う。 ・児童発達支援管理責任者が中心となり、個別支援計画に基づいて、子どもの発達段階や健康状態に配慮した支援を実施する。 ・学校・医療機関・相談支援専門員・保護者と連携しながら、放課後や長期休暇の時間を安心して過ごせる環境を整え、生活経験や社会経験を広げることを目指す。 		
営業時間	13時30分から	17時30分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職員によるバイタルチェックおよび医療的ケア（吸引・経管栄養等）を主治医指示書に基づき安全に実施し、日々の健康状態を把握 ・体調変化の早期発見と家族・医療機関への迅速な連絡体制を確保し、生活リズム（排泄・食事・休息）を個別に調整 ・口腔ケア・身体清拭等による清潔保持および感染症対策を徹底し、安心して過ごせる環境を整備 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士・作業療法士による評価に基づき、関節可動域訓練やポジショニングを実施し、拘縮予防・機能維持を図る ・日常動作の中で無理のない身体活動を取り入れるとともに、姿勢保持具等を活用し安定した姿勢と快適な環境を確保 ・触覚・視覚・聴覚への穏やかな刺激（マッサージ、音楽、光環境等）を活用し、感覚特性に応じた負担の少ない支援を実施 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚・聴覚・触覚等への働きかけを通じて、周囲の人や物への気づき・反応を引き出し、認知の拡がりを支援 ・日課や手順の一貫性を確保し、予測可能な環境を整えることで安心感を高め、安定した行動形成を促進 ・行動の意味を丁寧に読み取り、要求や不快のサインを代替手段で表出できるよう支援し、問題行動の予防につなげる 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・表情・視線・発声・身体反応等の非言語的サインを丁寧に読み取り、意思の受け止めと応答的関わりを徹底 ・個々の特性に応じ、ジェスチャー・視覚支援・スイッチ等の代替手段を活用し、意思表出の機会を拡充 ・やり取りの成功体験を積み重ね、安心して関われる環境を整えることで、対人コミュニケーションの基盤形成を支援 	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・職員との安定した関係形成を基盤に、安心して関われる環境を整え、他者への関心や関わりの土台を育成 ・小集団での関わりを通じ、順番・共有・待つ等の基本的な社会的行動を経験できる機会を設定 ・個々の特性に応じた関わり方を調整し、成功体験を積み重ねることで、対人関係への安心感と参加意欲を高める 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の健康状態や支援内容を共有し、家庭との一貫性を確保 ・医療的ケアや介助方法の助言を行い、家族の不安軽減を図る 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関・学校・相談支援専門員等と情報共有し、支援の一貫性を確保 ・地域資源と連携し、安心して地域生活を継続できる体制を構築
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関・学校・相談支援専門員等と情報共有し、支援の一貫性を確保 ・地域資源と連携し、安心して地域生活を継続できる体制を構築 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア・感染対策の研修を実施し、専門性と安全性を向上 ・事例検討やOJTで支援力を高め、質の均一化を推進
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節行事（七夕・夏祭り・ハロウィン・クリスマス等）を実施し、体調に配慮しながら五感を活用した無理のない参加機会を提供し、日常に楽しみと変化をもたらす ・誕生日会や外出（近隣公園散策等）、音楽・制作活動を通じて個々の特性に応じた参加を促し、安心して過ごせる経験と人との関わりの機会を創出 		